

第 4 期鹿児島市地域福祉計画（素案）に関する パブリックコメント手続等の実施結果について

【パブリックコメント手続の実施結果】

1 実施時期：平成 28 年 11 月 15 日（火）～12 月 14 日（水）（30 日間）

2 意見提出状況

意見提出者	34 人	
意見の件数	142 件	
	A 意見の趣旨等を反映し、計画（素案）に盛り込むもの	5 件
	B 意見の趣旨等は、計画（素案）に盛り込み済みのもの	78 件
	C 計画（素案）には盛り込まないもの	0 件
	D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	6 件
E その他要望・意見等	53 件	

3 主な意見概要

A 意見の趣旨等を反映し、計画（素案）に盛り込むもの

- (1) 【第 2 編】計画の体系の、IV-1-(2)-①「互いに認め尊重しあえる土壌づくり」の、土壌づくりの表現でいいのだろうか。
- (2) 【第 4 編】中央地区計画【地域福祉活動に携わる人材の確保】-(1)-④ 地域福祉館を活用したボランティアの募集 ⇒ 地域福祉館を活用したボランティアの募集と活用促進、とした方がよりボランティア活動が活性化するのではないか。
- (3) 【第 4 編】中央地区計画【支えあいの情報の確保と活用】-(2)-⑤ 民生委員・児童委員による高齢者などの要配慮者の細やかな把握 ⇒ 民生委員・児童委員による高齢者、要配慮者の把握と細やかな対応、とした方がより具体的である。
- (4) 【第 4 編】中央地区計画【安心安全な暮らしを支援する】⇒【安心安全な暮らしの支援】とした方が他の表題と同じく、体言止めで統一されるので分かりやすい。
- (5) 【第 4 編】中央地区計画【安心安全な暮らしを支援する】(6)-⑤災害時の要支援者等への避難支援等に向けた協力 ⇒ 災害時における要支援者等への細やかな心配りと支援、とした方が、地区の現状や課題の表現と統一感が出て分かりやすい。

D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの

- (1) 【第 1 編】住民が主体となって地域福祉を推進する計画は良いと思いました。現代の核家族化により、住民との関わりが少ない地域で大事なものは、住民同士の協力・助け合いだと考えます。計画策定の趣旨でもある、自助・共助・公助の体制をそれぞれ何割程度でやっていくかを考えれば、もっと細かく見ていけると思いました。
- (2) 【第 4 編】地域の課題を各組織が連携し情報を共有して地域の実態に合わせた事業を選択し実行していく必要があるのではないのでしょうか。あらゆる行政機関と連携をとりながら活動を進める体制が必要ですね。

- (3) 【第4編】市全体としてだけでなく、地区ごとに福祉計画を立てているのがいいと思いました。人口が集中している地区や、面積が広い地区は二分割にして考えたほうがいいのではないかと思います。そうすることによってまた見えてくる課題が違うのではないかと思います。
- (4) 【第4編】中央地区は人が多く集まる場所でもあり、交通手段が多様であるため、ポスターを貼ったりイベントごとに知らせたりするチャンスがあると思います。映像で福祉活動を宣伝したり、人が多いところならではのやり方があると感じました。
- (5) 【第4編】中央地区計画【高齢者への支援】-(5)-② イベントへの高齢者の参加促進 ⇒ イベントへの高齢者・要配慮者の参加促進、とした方がより多くの方々の交流促進につながるのではないかと。
- (6) 【第4編】喜入地区(6)-①に自主防災委員の記載も追加したらと思います。

【第3回地区福祉推進会議の協議における意見（パブリックコメント手続の実施後）】

1 9地区における第3回地区福祉推進会議の開催

平成29年1月16日（月）～23日（月）

2 第3回地区福祉推進会議の協議における意見を反映し、計画（素案）に盛り込むもの

【郡山地区】

- (1) 【第4編】郡山地区計画【要支援者への援助活動】-(8)-① 敬老者への記念品の贈呈 ⇒ 高齢者への敬老祝い品の贈呈、とした方が他の箇所との整合性が取れ、また、郡山地区の取組の特長を表現できるのではないかと。
- (2) 【第4編】郡山地区計画【要支援者への支援】-(8)-③ 自治会とタイアップした「見守りマップ」の作成 ⇒ 自治会とタイアップした「支え合いマップ」の作成、とした方が他の箇所との整合性が取れるのではないかと。